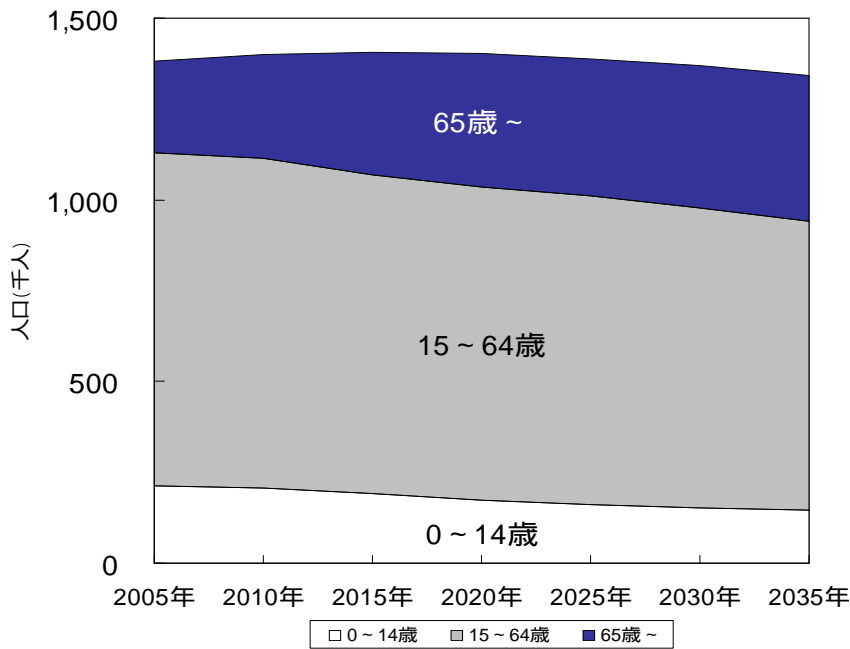
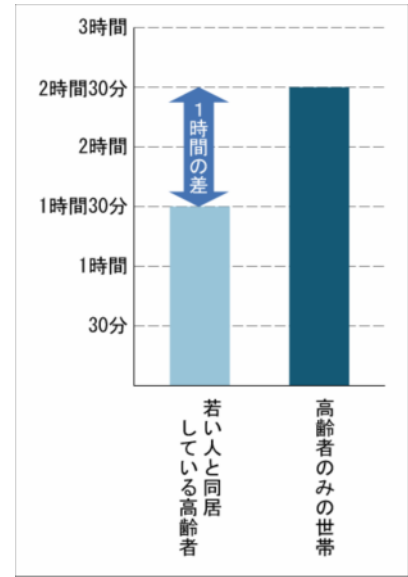


# 滋賀県における年齢区分別人口の推計



年齢区分別人口の推計値(滋賀県)  
(出典: 国立社会保障・人口問題研究所資料)

【参考】  
高齢者が避難に要した時間



2000年の東海豪雨で群馬大学の片田敏孝助教授が調査した結果  
出典: 国土交通省河川局災害情報

- 滋賀県においても、**少子高齢化が進行。**

公助

## 【行政の課題】

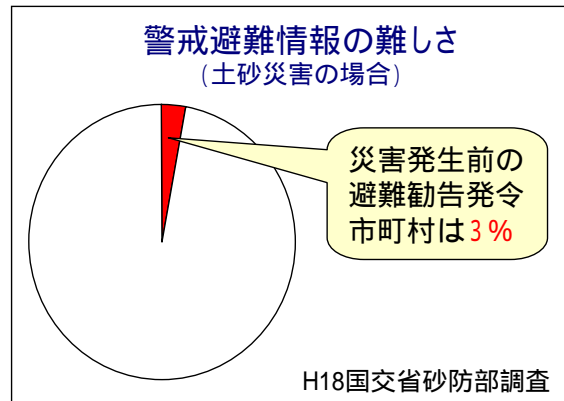
**行政だけでは完璧には守れない。**

# 水害対応に関する不安

滋賀県流域治水検討委員会(行政部会)で出された意見より

- 現実に災害、また多くの降雨があった場合、**対応できるか**というのは非常に懸念をしている。
- 近年水害がなく、**行政・住民ともに水害経験がない**ので、いざというときについてきは不安を感じている。
- 年配の方から水害経験を聞くが、実際に最近の水害が起きていないので、**わからない状態で模索**している。

- 警戒水位になると避難勧告を出すことになっているが、**住民経験から「その位の水位では全然大丈夫だ」**など、なかなか動いてもらえない。
- 県が設定した警戒水位と経験的に伝わっている水位とに差がある。警戒水位になっても、空振りの恐れがあり**避難勧告を出すべきか判断に困る**。



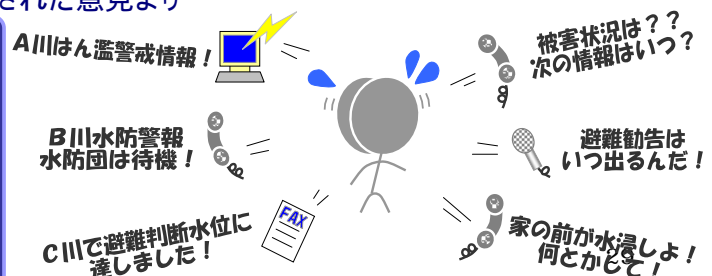
# 水害対応に関する不安

災害発生直前の対策	災害の警報等の伝達	予報・警報を関係者に伝達・周知 予報・警報の住民への広報
	住民の避難誘導	危険箇所の監視・警戒活動 避難誘導・準備情報・勧告・指示
	災害未然防止活動	水防活動の実施
情報の収集・連絡及び通信の確保	災害情報の収集・連絡	災害初動期における情報の収集・分析 県・国への報告 災害情報の伝送
	通信手段の確保	通信手段の確保・通信統制の実施
活動体制の確立	活動体制の配備	災害体制の配備
	応援体制の要請	県への応援の要請・広域応援体制の確立

参考)「大津市地域防災計画」災害応急対応計画

滋賀県流域治水検討委員会(行政部会)で出された意見より

- 担当を増やせない中で、**取り扱う情報がどんどん増え、対応に困る**。
- 情報伝達が統一できておらず、**避難勧告・避難指示が迅速に出せない**。



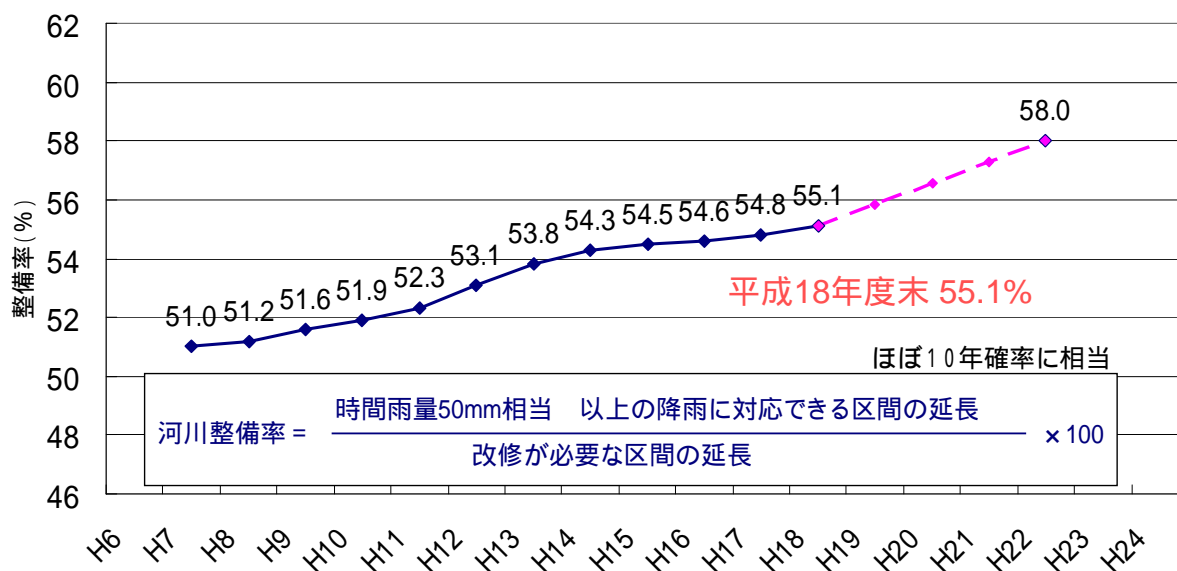
## 【河川管理者(県)の課題】

河川整備は長い年月がかかる

30

## 滋賀県の河川整備率の推移

一級河川で10年確率の治水安全度を確保するには今後60年以上を必要  
(残事業費6000億円/年間予算95億円(H9～H18の平均値)/年)



31

## 河川整備が進まない状況例



北川(草津市)



長命寺川(近江八幡市)

- 鉄道や幹線道路の橋梁を横断する箇所や、人家密集地での河川改修には時間と費用がかかる。

公助

### 【河川管理者(県)の課題】

河川整備の限界が理解されていない。